

フェアトレード生産者からヘルプ！
自立した暮らしを未来へつなぐ



2020年7月8日
グローバル・ヴィレッジ
代表 胤森なお子

GLOBAL VILLAGE

1. プロジェクト目的

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、フェアトレード商品の生産の中止や延期を余儀なくされ、苦境に陥っているピープルツリーのパートナー団体に対し、休業中の賃金支払いや前払い、食糧配給などに必要な資金を送り、活動の継続を支援することを目指しました。

2. クラウドファンディング概要

1) 実施期間

- ・グローバル・ヴィレッジ／ピープルツリーによる直接募集：2020年5月1日～5月8日
- ・クラウドファンディングサイト「READYFOR」による公募：2020年5月9日～6月5日

2) 目標金額：合計 200 万円

3) 達成金額：308 万 4,800 円

- 〔内訳〕・直接募集：93 万 4,800 円
- ・READYFOR:215 万円

5月8日までの直接募集により約80万円が集まったことから、READYFORの目標金額を120万円でスタートしました。

5月18日に120万円を達成することができたため、パートナー団体への支援金額の上乗せと支援先の追加を目指して「ネクストゴール」を200万円に設定し、募集を継続しました。最終的にREADYFOR経由でのご支援は215万円に達しました。

さらに、ピープルツリーのお取引先等からイベントの売上をご寄付いただくなど、直接支援も93万円あまりとなり、いただいたご支援の合計は308万4,800円となりました。

3. 実施概要

1) パートナー団体へのヒアリングと支援先決定

ピープルツリーの商品供給には、衣料品や雑貨の各生産工程に関わる生産者グループや食品の原材料栽培の農家グループなど18カ国145グループが携わっており、最終製品の受発注窓口となっているパートナー団体は7カ国27団体あります。このうち、ウイルス感染拡大によるロックダウンなどによって生産活動が滞っていた衣料品や雑貨のパートナー団体に、ロックダウンによる影響やその対応のためにどのような活動を行っているか、活動に必要な金額、政府や他の取引先等からの支援の有無をヒアリングしました。

ロックダウン措置がとられた国や地域では、ほとんどのパートナー団体が、厳しい規制により生産活動が滞る中でもスタッフに賃金を支払い、製品の出来高払いをする生産者に対しても前払いや支援金の給付によって生計を支援していました。また、特に困窮している生産者やコミュニティ内の貧しい人びとに対して、食糧や衛生用品の配布を行っている団体も多くありました。この回答を受け、20団体に対して支援金を送ることを決定しました。

また、グローバル・ヴィレッジが20年に渡って支援しているバングラデシュのNGWF(バングラデシュ衣料産業労働者連盟)より、収入減や失業に苦しむ縫製工場の労働者の支援を要請されたことから支援先に追加し、支援先を21団体としました。

NGWFは1984年に設立された同国最大の労働組合連合で、衣料品産業で働く人の労働組合への加

入促進や、雇用主や政府に対する働きかけを通じて労働者の待遇改善を実現してきました。今回のコロナ禍によって、大手の欧米企業が店舗の休業などによる売上減を見込み、生産工場への発注を次々にキャンセルしました。キャンセル額は 32 億ドル(約 3,450 億円)に及び、これによって縫製工場などで働く労働者 420 万人の半数以上にのぼる 230 万人が、収入減や失業などに苦しんでいます。解雇された人は NGWF に報告があるだけで 1 万 3,000 人、休業手当もなく賃金を 8 割カットされるなどのケースも相次ぎました。

NGWF は 5 月初めから生活に困窮している人に食糧を配布する活動を始めており、その費用の支援を求めています。

このプロジェクトは当初、フェアトレードのパートナー団体のみを支援を想定していましたが、フェアトレードの傘で守られていない、さらに厳しい状況にある人びとにも支援を届けることとしました。

2) 支援金額の決定

ピープルツリーのパートナー 20 団体は規模も形態もさまざま。いくつもの小グループに分かれ、数千人の生産者を抱えるところから数十人の小規模団体まで、また福祉や教育のプロジェクトも行う NGO から企業として活動する団体まで多様であるため、各団体にいくらずつ寄付を配分するかは難しい判断でした。大規模な NGO は活動規模も必要な資金額も大きいものの、取引先も多く欧米の取引先から支援を受けているケースもありました。一方、小規模でピープルツリーを唯一の取引先とする団体は他からの支援を見込めないなど、活動規模だけでなく様々な要素を配慮して、できるだけ公正な判断を心掛けました。

結論として、原則としてすべての団体に一律 \$1,000(約 10 万 7 千円)を配分し、特に配慮が必要と思われる団体に \$500~\$1,000 を上乗せすることとしました。

折しも、キャンペーン実施中の 5 月 20 日、インド東部とバングラデシュを過去 10 年で最大級というサイクロンが襲い、暴風や強雨による土砂崩れなどで住宅や農作物に大きな被害をもたらしました。インドの西ベンガル州で 80 人以上、バングラデシュで 20 人以上が亡くなり、家や作物、土地に被害を受けた人は 1300 万人にものぼりました。

幸いにもパートナー団体の中で人的被害はありませんでしたが、西ベンガル州に生産者グループがいるサシャから、10 の生産者グループで作業所や事務所の建物に被害があったとの報告を受けました。

サイクロン被害や活動内容等から、サシャをはじめとするパートナー 4 団体と、支援対象者が多い NGWF に \$500~\$1,000 を上乗せすることとし、下記の通り支援金を配分しました。

	団体名	国	コロナ禍への対応内容	寄付金額(\$)	備考
1	サシャ	インド	スタッフの賃金支払い継続。生産者に前払い。特に生活困難な職人に支援金。	2,000	5/20 のサイクロンで 10 の生産者グループが被災
2	タラ・プロジェクト	インド	生産者に前払い。食糧や石鹸、体温計などを配布。対象は生産者のほか、コミュニティ内の弱者も。	1,500	子どもの教育プロジェクトなど、活動が幅広い
3	アシシ・ガーマンツ	インド	賃金の支払いを継続。104 家族に食糧配布。	1,000	
4	クリエイティブ・ハンディクラフト	インド	スタッフと生産者の賃金支払い継続。食糧配布。	1,000	
5	ラジラクシミ	インド	2 カ所の拠点でそれぞれ食糧配布。マスクや消毒液は近隣住民にも配布。	1,000	

6	ゴダバリ・デルタ・レース	インド	生産者 20 名に食糧やマスクを配布。寄付を受けられれば 250 名に拡大。	1,000	
7	メルヴィル・トラスト	インド	スタッフの賃金支払い継続。医薬品やマスクを配布。	1,000	
8	タナパラ・スワローズ	バングラデシュ	食糧や衛生用品を配布。寄付を受けられれば作業服を作りたい。	1,500	学校運営など、コミュニティ支援が幅広い
9	デヴテック・アソシエイツ	バングラデシュ	生産者 30 名に 600-1,500 タカの支援金支給。寄付金は食糧配布に使いたい。	1,500	取引先がピープルツリーのみ
10	サイドプール・エンタープライズ	バングラデシュ	生産者に 10,000 タカの前払いと 1,500 タカの支援金支給。	1,000	
11	ジュートワークス	バングラデシュ	235 名の日雇い生産者に 1,000-2,000 タカの支援金支給。難民キャンプやスラムの生産者グループには食糧配布も。	1,000	
12	プロクリティ	バングラデシュ	781 名の生産者に 1,100 タカの支援金とマスク等を支給。コミュニティ内の 1,000 名に食糧や蚊帳を配布。	1,000	
13	クムディニ・ハンドイクラフト	バングラデシュ	母体財団が経営する病院の医療チームが訪問診療。生産者やコミュニティ住人 4,500 家族に食糧配布。	1,000	
14	デュー・クラフト	バングラデシュ	寄付があればマスクや食糧配布を行いたい。	1,000	
15	KTS(クムベシュワール・テクニカル・スクール)	ネパール	スタッフの賃金支払いと生産者への前払いを継続。	1,000	
16	ACP(手工芸生産者連盟)	ネパール	資金不足によりスタッフや生産者への支払いは 50%のみ。寄付があれば感染症の保険を導入したい。	1,000	
17	ニュー・サドル	ネパール	スタッフや生産者 60 家族に食糧や石鹼を配布。	1,000	
18	サナ・ハスタカラ	ネパール	スタッフや生産者への賃金支払いを継続。感染症の保険を導入予定。	1,000	
19	サフィー	フィリピン	スタッフ 25 名と生産者 10 名に 1,500 ペソの支援金支給。	1,000	
20	ボンボルル・ワークショップ	ケニア	マスクや石鹼、消毒液を配布。	1,000	
21	NGWF(バングラデシュ衣料産業労働者連盟)	バングラデシュ	6つのエリアで 5,000 名の工場労働者に食糧配布。	2,000	支援規模が大きく、より弱い立場の労働者が対象
	合計			24,500	

[参考] 1 バングラデシュタカ=約 1.2 円 1 フィリピンペソ=約 2.1 円

3) 送金の実施

当初は、インド、バングラデシュ、ネパールの3カ国については各国のフェアトレードネットワークを通じた送金を計画していましたが、ネットワーク組織に加盟していない団体もあり、またネットワーク内で特定の団体のみ寄付を配分することが困難であることから、21 団体に個別で送金することにしました。6 月 19 日～30 日の間にドルまたはユーロでの送金を終了したものの、いくつかの団体ではビジネス

ス用の口座への寄付の入金が銀行により引き出しを拒否されるなど、7月7日現在、現地で引き出し可能となったことを確認できたのはまだ10団体にとどまっています。
引き出しのために必要な書類の手配など、引き続きフォローを行っていきます。

4) 活動の広報

(1) SNS、ウェブサイトからの発信

パートナー団体からヒアリングした内容を、「生産者のいま」というレポートにして4月27日～5月20日にピープルツリーのフェイスブックとインスタグラム、ブログ、グローバル・ヴィレッジのフェイスブックとブログ、READYFOR プロジェクトページの「新着情報」で紹介し、現地の様子と生産者からのメッセージを伝えました。
また、クラウドファンディングの達成状況も、フェイスブック等で頻繁に発信しました。



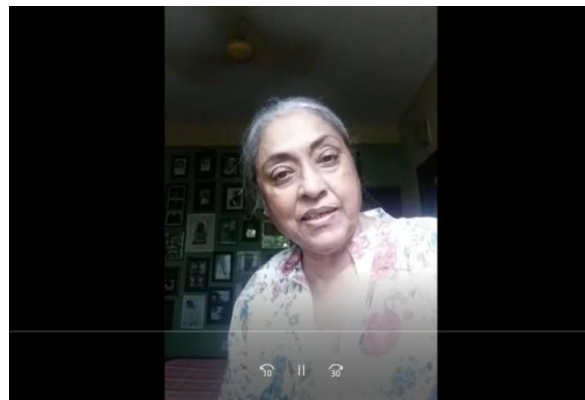
ピープルツリーのフェイスブックページ(左)とREADYFORの新着情報(右)

(2) フェアトレードの学校オンライン開催

通常はピープルツリー自由が丘店で月1回開催している「フェアトレードの学校」を、5月はオンラインで2回開催。5月24日の回にインドからサシャ CEO で WFTO(世界フェアトレード連盟)の理事長であるルーパ・メタさん、タラ・プロジェクト代表のムーン・シャルマさんをゲストに迎え、インドのロックダウン下の人びとの暮らしや生産者の状況について語っていただきました。
エシカル協会代表理事の末吉里花さんも交え、97名の参加者に、コロナ禍の中でできる一人ひとりのアクションを考えていただきました。



ルーパ・メタさん(写真右上)はコルカタの自宅から、ムーン・シャルマさん(写真下)はデリーの自宅兼オフィスから参加しました。
イベントの4日前にコルカタを州都とする西ベンガル州がサイクロンに襲われ、前日までルーパさんとの通信が途絶えていましたが、当日奇跡的に回復し、リアルタイムでお話を聞くことができました。



4. 資金使途報告

- ・パートナー団体 20 団体と NGWF への送金 \$ 24,500 = 2,636,701 円
- ・クラウドファンディング経費 (READYFOR 手数料、クレジットカード入金手数料): 374,247 円
- ・送金手数料: 72,760 円

合計: 3,090,708 円

収支: ▲5,908 円

※不足分はグローバル・ヴィレッジの資金で補填した

※支援のリターン商品の代金と送料は、ピープルツリー(フェアトレードカンパニー株式会社)が負担した

5. パートナー団体からのメッセージ

いずれの生産国でもコロナウイルスの感染は拡大を続けており収束が見えません。一方で現地では、経済活動を優先するためにロックダウンが緩和され、生産現場は少しずつ動き出しています。

パートナー団体は、活動の再開と感染防止の両立という難しい舵取りを迫られており、楽観できない状況が続いていますが、困難の中でもできる限りの対策をとりながら前に進もうとしています。

<ネパール>

サナ・ハスタカラ

代表 チャンドラ・カッチパティさんより (2020/6/18)

80 日以上事業を休止していましたが、今週からスタッフと生産者の 25%が、マスクの着用や消毒、ソーシャルディスタンスなどの対策を取りながら業務を再開しました。スタッフや生産者の感染に備えた保険も取り入れました。

この困難な時期に、\$1,000 の支援金はほんとうに助かります。

<バングラデシュ>

デュー・クラフト

代表 シャー・アブダス・サラームさんより (2020/6/20)

ピープルツリーは、もっとも長期間、密な関係を築いている信頼のおけるパートナーのひとつであり、常に私たちに思いを寄せ、認めてくれます。

商品を購入いただいたりクラウドファンディングに協力して下さったピープルツリーのお客様に感謝しています。私たちの生産者グループが持続可能な暮らしを送れるよう、力をつける手助けとなります。

タナパラ・スワローズ

代表 ライハン・アリさんより (2020/6/1)

今回の支援金の使い道として、私たちは工房で働く生産者に作業服を提供することにしました。

自分たちの工房で縫製し、115 人の生産者にひとり 2 着ずつ提供します。

<フィリピン>

サフィー

代表 ロウイナ・アリンドガン・アントニオさんより (2020/6/2)

5月15日、31日と政府はロックダウンを段階的に緩和し、事業者は通常の稼働を認められました。しかし、感染者の増加し続ける状況は変わっていません。みな第二波を警戒していますが、政府は経済を優先させているようです。

サフィーでは、徒歩で通勤できるスタッフにのみ出勤を許可し、残りはテレワークで仕事を続けています。まもなく製品を出荷できると希望を持っています。支払いを受けられることが何よりも必要です。できるだけ早く準備できるよう、ベストを尽くします。

仕事を再開するにあたっては、ソーシャルディスタンスを守ることやマスクの着用、体温測定といったガイドラインを設けて守るようにしていますので、心配いりません。

支援金を送っていただけることは、私たちや生産者たちにとって大きな助けになります。本当にありがとうございます

<インド>

サシャ

ディレクター スジャータ・ゴスワニさんより (2020/6/24)

クラウドファンディングを行って私たちに支援金を送ってくださるということに、心から感謝いたします。コロナウイルスの感染拡大と、さらにサイクロンの被害で苦境にある生産者にとって、とてもタイムリーな支援となります。

支援金の使い道については、情報をアップデートして報告いたします。

同

CEO ルーパ・メタさんより (2020/6/29)

パートナーからこのような支援を得られることは、財政的な意味にとどまらず信義的にも、私たちのチームのモチベーションを高めこの困難に立ち向かうためにベストを尽くそうという決意を後押ししてくれます。

タラ・プロジェクト

代表 ムーン・シャルマさんより (2020/6/24)

ピープルツリーとグローバル・ヴィレッジが、生産者を支援するプロジェクトを始めくださり感謝しています。クラウドファンディングに多くのお客様や支援者が協力してくださったと聞き嬉しく思います。

タラ・プロジェクトに\$1,500の支援金を送ってくださるという決定に、深く感謝いたします。このご支援は私たちにとってとても大きな意味を持ちます。大変な状況にある生産者やその家族を支えることができるでしょう。これからタラ・プロジェクトが実施するさまざまな活動について、定期的に報告いたします。

ご存じの通りインドでは、状況は以前よりも厳しくなっています。ロックダウンが緩和され、人びとは生きていくために仕事に戻るしか選択の余地はありません。しかし同時に、貧しい人びとの多くが仕事を失ったままです。デリー(タラ・プロジェクトの活動拠点)やその他の大都市では日ごとに感染が広がっています。残念ながらコロナウイルスは今やデリーのような大都市で街中あちこちに広がっています。私たちが

いる地域は感染拡大地域とされており、これまでに45万6千人の感染者と1万4千人の死者が出ています。検査件数は増えていますが人口が膨大なためとても十分とは言えません。マスクの着用やソーシャルディスタンスを保つというルールを守らない人も多くいます。さらに、雨期に入って気温と湿度が上がり、マスクを着用するのも難しくなっています。

タラ・プロジェクトの教育プロジェクトと生産者グループ2団体が活動しているバダルプールで、悲しいことに二人の犠牲者が出ました。一人は以前コミュニティワーカーとして働いていたマンジュ、もう一人は教育プロジェクトで支援を受けていた少女ナンディニです。マンジュは心臓と甲状腺の疾患を持っていました。呼吸困難に陥って病院に運ばれ、多くの困難を経てようやく酸素吸入を受けられましたが、助かりませんでした。ほとんどの病院はコロナウイルスの感染患者であふれかえり、必要な治療が必要な時に受けられなくなっているのです。

酸素供給機器の不足と病院の定員オーバーの状況を見て、タラ・プロジェクトでは緊急時に酸素吸入ができるようバダルプールのヘルスセンターに医療機器を配備することにし、酸素濃度計、酸素ボンベ、酸素集結装置の3種類を手配しました。これで緊急時の患者の手当や、喘息などの呼吸器系の疾患を持つ人の助けになればと思います。



タラ・プロジェクトの支援活動

(写真左) ヘルスセンターに納品された酸素キット

(写真下) 食糧配給のようす



6. まとめ

目標を大きく上回るご支援をいただき、当初想定していた1団体あたり5万円～20万円という支援金額を、21団体すべてに10万円以上とすることができました。

ほとんどのパートナー団体が、生産者やスタッフへの休業手当や食糧配給などの活動に数千～数万ドルの費用を必要としています。そのため支援はまだ十分とは言えませんが、パートナー団体からは支援に対する謝意にとどまらず、生産者に寄り添う気持ちに対する感謝や、まだ先が見えない中でも活動を継続する後押しになったとのコメントが寄せられ、フェアトレード生産者を励まし支えるという目的は達成できたと考えています。

今後も引き続き、現地の様子をフォローし可能な支援方法を探っていきます。

以上